

令和8年度 PTA だより VOL.1

発行者：上白根小学校 PTA 本部 校外指導部

日頃より、PTA 活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
今年度もホームページを活用し、前期に行われた主な活動の様子を振り返りながら報告いたします。
PTA 活動を身近に感じていただけたら幸いです。

交通安全教室



見守りパトロール

交通安全教室

6月4日、旭警察署・旭交通安全協会の方々にご協力を頂き、1年生と4年生を対象に交通ルールや安全な登下校、自転車の乗り方について学びました。校外指導部も指導補助をしました。暑い中、参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

夏休みが明け、暑さも和らいできたことで、お友だちの家や公園へ出かける機会も増えてくることと思います。お子さんと一緒にこのおたよりに目を通してながら、改めて安全について確認してみてください。

歩行実践指導

1年生は校庭に横断歩道、信号を設置して道路を再現し、実際にその道路を歩きながら交通ルールを学びました。

横断歩道を渡る時には
右手を上げ
右・左・右を確認し
車が来ないことを
確認してから渡ろう！



内輪差の実験

ダミーの人形の足元にペットボトルを設置して、交差点での車の内輪差も実験しました。

車道のギリギリに立っている人形を前輪で避けても、後輪が人形の足元のペットボトルを踏みつぶし、大きな音が立ちました。子どもたちもその様子から車道の近くは危険であることを感じていました。

ハンドルを握る大人の側も注意が必要です。



交差点や横断歩道を渡る前には
車道のギリギリの場所ではなく
車道から離れた位置で
待つようにしましょう！

自転車の走行方法

4年生は実際に自転車に乗って歩道での安全な走行方法を学びました。自転車に乗らない子どもたちも自転車を押すかたちで参加し、学びを深めました（13歳未満の子どもは自転車で歩道を走行することができます。ただし、必ず歩行者が優先です）。

自転車は車の仲間です。ルールを守って安全運転を心がけましょう。



乗るときは**自転車の左側から**。
車が来ないか後ろを確認してから
サドルをまたぎ、ペダルに足を乗せる。
最後に後ろをもう一度確認してから進みだそう。
降りる時にはまた**右後ろ**を確認してね。



歩道では**右側**
車道では**左側**を
走ろう。

自転車通行可の標識



ヘルメットの着用を！

人間の体の中で、頭は重たい場所。
なので落ちる時は頭から落ちてしまう。
命を守るためにヘルメットを着けよう。



一時停止の標識

必ず停止して
安全確認をしよう。

自転車の走行方法や保険、条例などが
神奈川県警のホームページに詳しく乗っています。

[神奈川県自転車ルールブック 202601](#)

またお子さんと、相手の方を守るためにも

保険には必ず加入しましょう！

なおPTA 連絡協議会のこども総合保険は
月550円／年間6,610円から入れます。

<https://yokohamapta.net/pamph2026-2.pdf>

見守りパトロール

本校では月に一度、「子ども安全の日パトロール」を実施しています。地域と学校、保護者が連携して子どもたちの安全を守る取り組みです。自治会の防災担当の方、きずなの会の方々、校長先生やPTA 校外指導部役員、そして保護者の方々が参加し、パトロール前には地域の防犯・防災に関する情報を共有しています。ぜひお散歩がてら、お買い物のついでなどにお気軽にご参加ください。子どもたちの下校の様子をほほえましく見守るだけでなく、思わぬ危険に気付くこともできます。



きずなの会の方々はパトロールだけでなく毎日、登下校の時間に横断歩道や交差点に立ち子どもたちを見守ってくださっています。

「おかえり」「きをつけてね」
「はーい!」と
あたたかい声が交わされます。

毎回、同じ人がいることで子どもたちも顔を覚えて安心して下校できます。ただし、**子どもだけで帰る緊張感が薄れてきたこれらの時期が危なくなる**そうです。



あいさつをしよう!

挨拶には犯罪抑止の効果があります。犯罪者は挨拶をされると“顔を見られた”と感じて犯罪を諦めるからです。地域の安全を、挨拶で守りましょう。

最後に

平素より PTA 活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

保護者の皆さまと、地域の方々のお力添えのおかげで、
令和 8 年度前期の PTA 活動も無事に終わることが出来ました。

日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。
これからも子どもたちが楽しく、安全に学校生活を送ることができるように
皆さまと力を合わせて活動していきたいと思います。

引き続きのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

